

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第63回河内長野市地域公共交通会議
2 開催日時	令和6年3月21日～令和6年3月29日 (書面発送～回答期日)
3 開催場所	—
4 会議の概要	(1) 令和6年度河内長野市地域公共交通会議事業計画及び予算について 結果：原案のとおり可決 委員総数24名(会長除く) 賛成24名 反対0名  (2) 楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」の運賃改定について ※報告案件
5 公開・非公開の別 (理由)	書面開催
6 傍聴人数	—
7 問い合わせ先	(担当課名) 都市づくり部 都市計画課 公共交通係 (内線540、541)
8 その他	河内長野市地域公共交通会議規則第9条に基づき、 書面にて開催しました。

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第63回 河内長野市地域公共交通会議（書面開催）の結果

会議名称	第63回河内長野市地域公共交通会議
開催方法	書面
構成委員	別紙出席者名簿のとおり
案 件	(1) 令和6年度河内長野市地域公共交通会議事業計画及び予算について  (2) 楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」の運賃改定について ※報告案件
結 果	(1) 原案のとおり可決 委員総数24名（会長除く） 賛成24名 反対0名

## 令和5年度河内長野市地域公共交通会議名簿

	氏名	所属・役職
1	会長 榊井 繁春	河内長野市 副市長
2	副会長 日野 泰雄	大阪市立大学 名誉教授
3	委員 伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
4	委員 内田 雅之	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官
5	委員 中村 洋一	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官
6	委員 青野 邦男	大阪府 都市整備部 交通戦略室 交通計画課 課長補佐
7	委員 高平 一哉	大阪府 富田林土木事務所 地域防災担当参事兼地域支援・企画課長
8	委員 西本 学	大阪府 河内長野警察署 交通課長代理
9	委員 野谷 将一	南海バス株式会社 常務取締役企画部長
10	委員 岩佐 浩二	南海バス株式会社 取締役営業部長
11	委員 坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表
12	委員 小川 和彦	大阪第一交通株式会社 営業推進室課長
13	委員 仲西 英智	近鉄タクシー株式会社 南大阪総合営業所
14	委員 松崎 彰宏	南海電気鉄道株式会社 公共交通グループ 経営企画部 課長
15	委員 岡端 伸英	近畿日本鉄道株式会社 古市駅長
16	監事 山田 昭儀	河内長野市老人クラブ連合会 会長
17	委員 望月 教佳	河内長野市観光協会 会長
18	委員 西尾 元嗣	河内長野市商工会 会長
19	委員 田和辻 光晴	市民公募
20	監事 徳竹 志津枝	市民公募
21	委員 中橋 栄一	河内長野市福祉部長
22	委員 島田 俊彦	河内長野市環境経済部長
23	委員 田中 博行	河内長野市都市づくり部長
24	委員 早川 和志	河内長野市総務部長
25	委員 宮阪 晴久	河内長野市総合政策部長

## 令和6年度 河内長野市地域公共交通会議事業計画

(単位：円)

予算科目	事業計画	総事業費	うち市補助	河内長野市地域公共交通計画での位置付け	
				基本方針	取り組みの方向性
1運営費 2事務費 1事務費	振込手数料、資料代等	5,000	5,000		
2事業費 1事業費 1事業費	生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の策定および事業実施	12,223,000	0	①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	①まちづくり、観光等様々な分野との連携 ④鉄道・バス・乗合タクシー等の様々な公共交通サービスの連携
	市HPやSNSでの幹線系統のPR（沿線施設やイベント情報の発信強化）	0	0	①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	①将来像である「集約型連携都市（ネットワーク型コンパクトシティ）」を目指した取り組みの推進 ②他分野と有機的に連携した公共交通施策の展開
	バスマップ・企画乗車券PRパンフレットの配布 協賛店による企画乗車券の利用特典の提供			①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築	②他分野と有機的に連携した公共交通施策の展開
	運転免許証自主返納者への支援 高齢者を対象とした交通系アプリの使い方教室等			①まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークの構築 ②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	②他分野と有機的に連携した公共交通施策の展開
	高齢化に対応したきめ細やかな移動支援を含めた総合的な運送サービスの研究			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	③基幹的な公共交通と補完的な移動サービスの連携による高齢者ニーズにきめ細かに対応した移動手段の提供
	フリー乗降の運用状況や課題を踏まえた導入条件・手順等の整理			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	③基幹的な公共交通と補完的な移動サービスの連携による高齢者ニーズにきめ細かに対応した移動手段の提供
	3Dマップを活用した移動環境の検証			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	④ICTを活用したニーズ把握により高い利便性を実現した公共交通サービスの検討
	自動運転に関する調査研究			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	④ICTを活用したニーズ把握により高い利便性を実現した公共交通サービスの検討
	MaaSアプリ導入による移動の利便性の向上及び将来の展開に向けた研究			②高齢化の進展や市民ニーズに対応した公共交通の実現	④ICTを活用したニーズ把握により高い利便性を実現した公共交通サービスの検討
	公共交通不便地域でのニーズに応じた地域主体の公共交通の検討、支援（楠ヶ丘地域、石見川地域）			③協働による取り組みの推進	⑤三者協働による公共交通ネットワークの維持・最適化の検討
	市HPやSNSでの公共交通情報の発信			③協働による取り組みの推進	⑥地域住民が公共交通を「自分事」として考える意識の醸成
	小学生によるバス車内アナウンスやバスの乗り方教室の実施			③協働による取り組みの推進	⑥地域住民が公共交通を「自分事」として考える意識の醸成
	路線バス千代田線上限200円運賃の試行の継続			764,000	764,000
モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行および日曜日限定同伴者割引の試行の継続	1,982,000	1,982,000	③協働による取り組みの推進	⑤三者協働による公共交通ネットワークの維持・最適化の検討	
小計	14,974,000	2,751,000			

## ※生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）に係る予算について

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、令和6年度から地域内フィーダー系統の補助金の交付先が乗合事業者から市町村法定協議会に変更となりましたので、補助金交付予定額について令和6年度交通会議予算に計上しています。認定された計画に基づき事業を実施し、補助金については、対象となる赤字路線に対し交付する予定です。

3予備費 1予備費 1予備費		1,000		備考：利子収入
----------------------	--	-------	--	---------

## 令和6年度 河内長野市地域公共交通会議予算

歳入予算額 14,975,000 円  
 歳出予算額 14,975,000 円  
 差 額 0 円

### 1 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	備考
1	負担金	1 負担金	0	
2	補助金	1 補助金	14,974,000	市補助金 2,751,000円 国補助金12,223,000円
3	繰越金	1 繰越金	0	
4	諸収入	1 雑入	1,000	預金利子
合 計			14,975,000	

### 2 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	備考
1	1	会議費	0	
	2	事務費	5,000	振込手数料や資料代等
2	1	事業費	14,969,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス千代田線上限200円運賃の試行</li> <li>・モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行</li> <li>および日曜日限定同伴者割引の試行</li> <li>・生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の策定および事業実施</li> </ul>
3	1	予備費	1,000	
合 計			14,975,000	

## 三者協働による交通維持の取り組みの実施

### 楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」の運賃改定について

#### 1 楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」について

楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」は、交通不便地対策として、運行会社である大阪第一交通(株)と協定を締結し、運行経費から運賃収入を差し引いた赤字部分について補填を行っております。

- 平成30年度実績:収支率約75%→残り約25%(約200万円)を市が負担
- 令和4年度実績 :収支率約51%→残り約49%(約356万円)を市が負担

税金を使って実施している事業である以上、収支率 50%(市:地域=50:50)は他の地域との公平性の観点から今後も維持していきたいと考えております。

#### 2 運賃値上げに至った背景

現在の運行経費については、運行開始より消費税率の改定以外は変更せず運行を継続して参りましたが、経費の高騰に伴い、現在の運行経費では運行継続が困難な状況となったため、運行主体である大阪第一交通(株)より、令和6年4月から運行経費の値上げに関する申し出がありました。しかしながら、現在の利用者数では、運行継続条件である収支50%を維持するには難しいため、現在の状況を楠ヶ丘地域の住民の皆様と協議した結果、今後も収支率 50%の安定した運行を継続するためには、運行経費の値上げに伴い、くすまるの運賃についても値上げはやむを得ないという判断に至りました。

#### 3 運賃協議ワーキンググループでの協議結果

上記のような状況を受けて、令和6年1月31日に運賃協議ワーキンググループにおいて、協議を実施いたしました。協議の結果、以下の内容でご承認いただきましたので、ご報告いたします。

- 運賃改定日 :令和6年4月1日
- 現在の運賃 :大人200円 小児:100円
- 改定後の運賃 :大人300円 小児:100円  
※小児運賃については利用促進施策として据え置く
- 運賃の値上げに伴う施策として、新たな回数券の販売  
金額 :300円×5枚で1セットを1,300円で販売(年間1000セット限定)  
販売時期:令和6年4月以降(自治会の総会にて承認後販売のためR6.5月から販売)  
販売方法:月に1回楠ヶ丘自治会にて第1土曜日に販売

※なお、運賃100円の値上げは、利用者にとって大きな負担になるため、今後も行政・運行事業者・住民の三者で協力して、利用促進に向けた取り組みを行ってまいります。